

（株）島津製作所 瀬田事業所

2003年 環境報告書

2004年 2月25日

< 事業所概要 >

所在地 大津市月輪1丁目8番1号

事業所名 株式会社 島津製作所瀬田事業所

敷地面積 35,560 平方メートル

全建屋投影面積 14,217 平方メートル

代表者 所 長 岩崎正弘

本社所在地 京都市中京区西ノ京桑原町1番地

< 主な事業所内企業 >

企業名 (株)島津製作所  
フルイディスク機器部

従業員数 8名

営業品目 油圧ポンプ・油圧モーター  
油圧バルブ等の企画・開発

本社所在地 京都市中京区西ノ京桑原町1

企業名 島津メクテム (株)

代表者名 取締役社長 佐藤修一

資本金 100百万円

従業員数 120名

営業品目 真空熱処理炉・歯車ポンプ  
工業用X線検査装置  
ガラスワインダーの製造・販売

企業名 島津ハイドロリクス (株)

代表者名 取締役社長 北野成一

資本金 30百万円

従業員数 130名

営業品目 油圧ポンプ・油圧モーター  
油圧バルブ等の製造

企業名 島津ロジスティクスサービス (株)

従業員数 10名

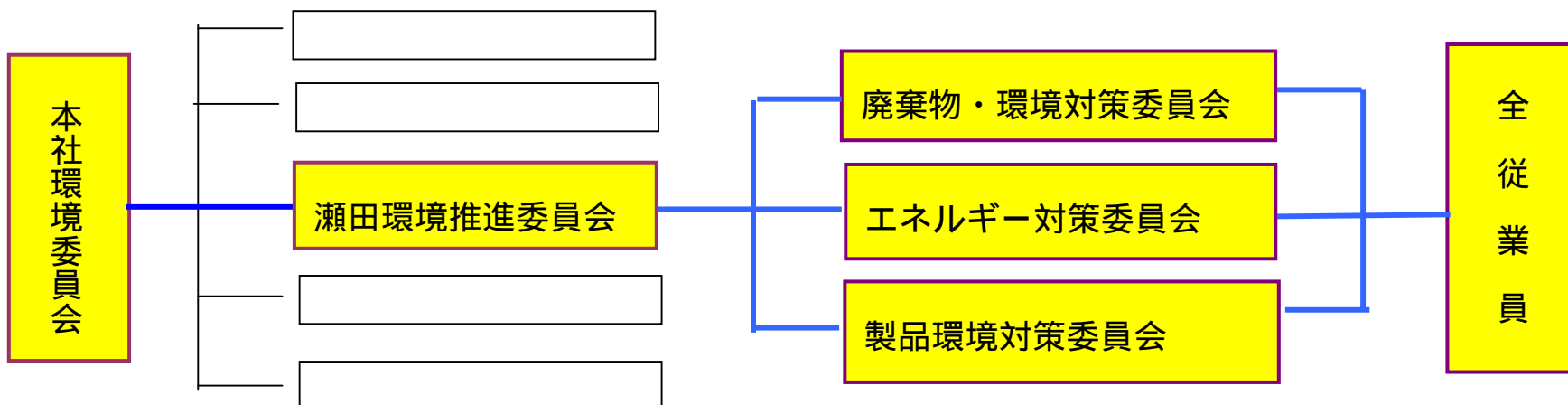
主な業務 製品出荷

その他常駐企業 8社

従業員数 35名

主な業務 運搬・警備・清掃他

< 環境改善運動組織 >



## < 所長挨拶 >

当事業所の沿革は、1962年1月の島津金属工業(株)設立を端緒としています。その後2000年4月に京都市内より油圧機器製造グループが転入し、島津メクテム(株)と島津ハイドロリクス(株)を2本柱として(株)島津製作所瀬田事業所を設立しました。設立の翌年(2001年)2月に、(株)島津製作所(瀬田事業所)・島津メクテム(株)・島津ハイドロリクス(株)の3社が一括して大津市と環境保全協定を締結、6月には(株)島津製作所本社の一部門としてISO14001認証事業所を取得いたしました。

当地は、「関西の水ガメ」琵琶湖の環境保全活動で世界的に認識されており、弊社が定めている経営理念「地球環境の保全と人類の健康に貢献する」と合い通じる地域と認識しています。ついては当事業所でも、社員食堂の厨房廃水をバイオで浄化する設備を設置し、公共水域への排水に特別留意するなどの環境活動を行っていますが、大津市での環境活動実績はまだ浅く、至らないこともあるかと存じます。先輩諸氏のご指導・ご鞭撻をお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

文末になりましたが、以下に弊社の環境方針を掲示させていただきます。

(株)島津製作所瀬田事業所 所長 岩崎正弘

### 1. 基本理念

人類の健康と地球規模の環境保全は全世界共通の願いであり、社会の一員として地球環境問題を当社の最重要課題の一つとして位置づけ、当社経営理念「人と地球の健康」への願いを実現するべく企業活動を行い、地球を守り豊かな社会の実現に資する。

### 2. 基本方針

株式会社島津製作所本社地区事業所は、本社機能、環境分析・測定機器、などを含む、分析機器、計測機器、試験機器、医用機器、航空機器、油圧機器、産業機器、バイオプロダクツ及びセンサ・デバイス、理化学器械の開発・製造の拡大に努めるとともに、本社地区事業所製品ならびにその製造過程及び関連サービスが環境に与える影響を的確に捉え、持続的な環境負荷の低減と社会の環境改善への積極的貢献を目指して、次の基本方針に基づき活動する。

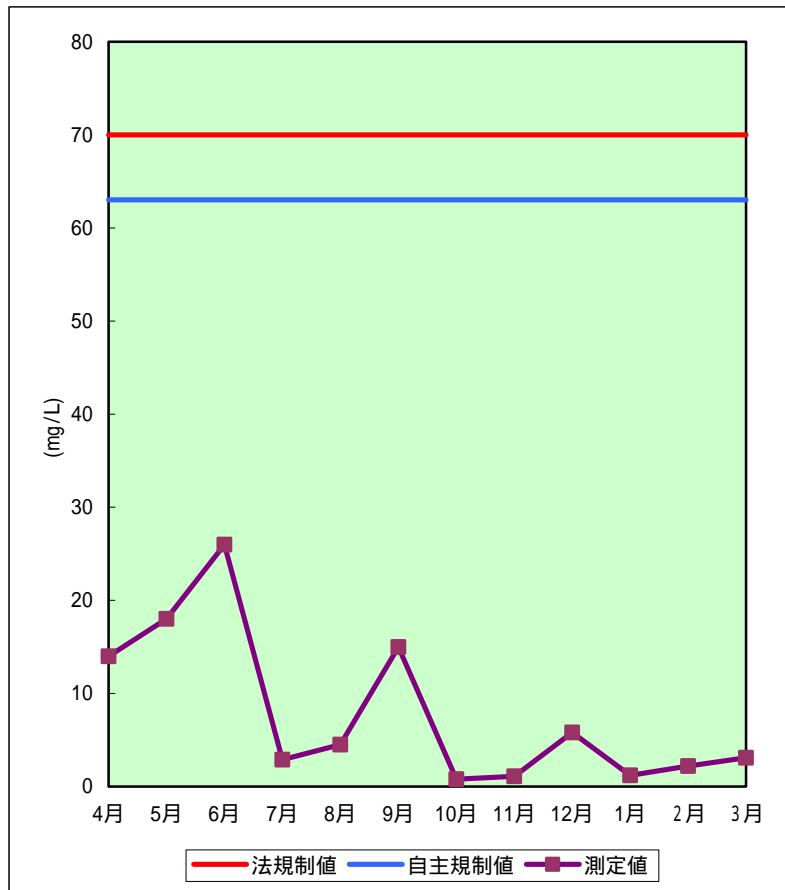
- (1) 地球環境の保全と事業活動との調和を、経営の最優先課題の一つとして、本社地区事業所をあげて取り組む。
- (2) 地球環境の保全活動を推進させるため、本社地区事業所全員が活動できる組織を整備する。
- (3) 事業活動によって生じる環境への影響(環境汚染、資源減少、地球温暖化、オゾン層破壊など)を的確に把握し、技術的、経済的に可能な範囲で、環境保全活動の継続的な向上を図る。
- (4) 国際的環境規制及び国、地方自治体などの環境規制を遵守し、必要に応じて自主基準を策定して環境保全に努める。
- (5) 当社本社地区事業所が行う事業活動が、環境に与える影響のうちで、特に以下の項目について優先的に保全活動を推進する。  
本社地区事業所敷地内より発生し、敷地周辺に及び騒音を抑え、近隣社会の生活環境の保全を図る。  
環境へ著しい影響を及ぼす化学物質等の使用量削減と管理並びに生産設備等の改善・維持管理を徹底し、汚染予防を図る。  
電子媒体の徹底活用等による紙(コピー紙)の使用量削減、及び廃棄物の削減とリサイクル推進を図る。  
生産設備及び空調設備等に係わる電気エネルギーの削減を図る。  
非定常時・緊急時に有害物質及びオゾン層破壊物質等が環境に著しい影響を及ぼさないよう予防措置に努め、その訓練(テスト)を行う。  
持続的な環境負荷の低減と社会の環境改善へ向け、積極的な環境貢献製品の開発を行う。  
本社地区事業所で開発製作する製品が環境に与える負荷を低減するため、省エネ及びリサイクル率等の向上を目指す。  
環境に配慮した物品及びサービスの調達を積極的に推進し、地球環境負荷の低減を図る。  
汚染物質が公共用水域に流出しないように排水水質の管理を徹底すると共に、汚染予防措置を図る。
- (6) 地球環境保全に本社地区事業所全員及び関係者が責任をもって取り組むべく、環境教育及び啓発活動を行い、地球環境保全に資する。
- (7) 地域住民、関係諸官庁とのコミュニケーションを図り、地域社会に貢献する。非定常時・緊急時に有害物質及びオゾン層破壊物質等が環境に著しい影響を及ぼさないよう予防措置に努め、その訓練(テスト)を行う。

## < 主な環境改善活動 >

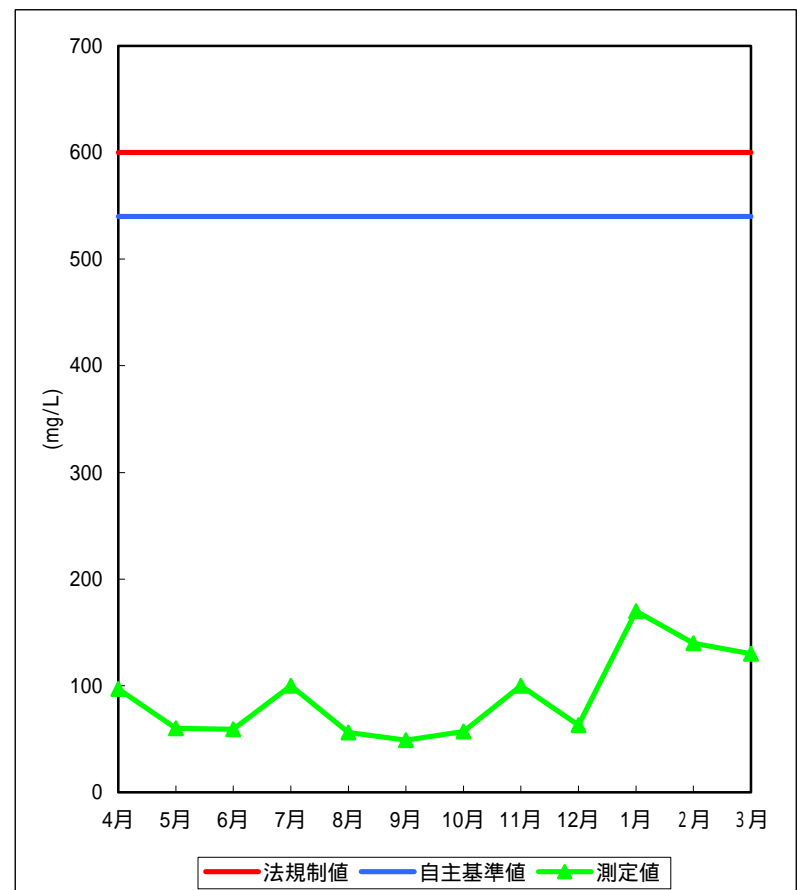
- ・ 2002年 3月            2002年度・環境改善計画を決定
- ・ 2002年 4月 ~ 5月   環境マネジメントマニュアルに基づく特別教育・緊急訓練および一般教育の実施
- ・ 2002年 4月 ~        全従業員による改善運動の実施
- ・ 2002年 6月           厨房廃水と一部工程廃水用浄水化装置が本格的に稼動
- ・ 2002年 7月           琵琶湖を美しくする運動参加（島津メクテムは、38年間連続参加）
- ・ 2002年 11月         内部監査の実施

《2002 年度環境改善活動実績の一部》

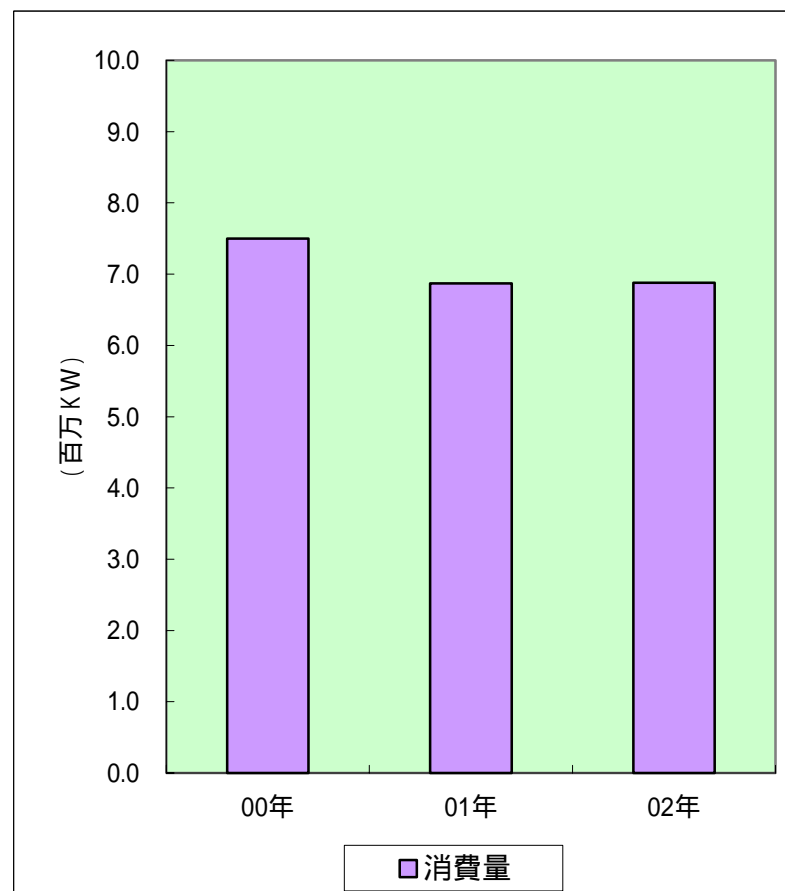
河川排水管理（14 番排水口 BOD 値）



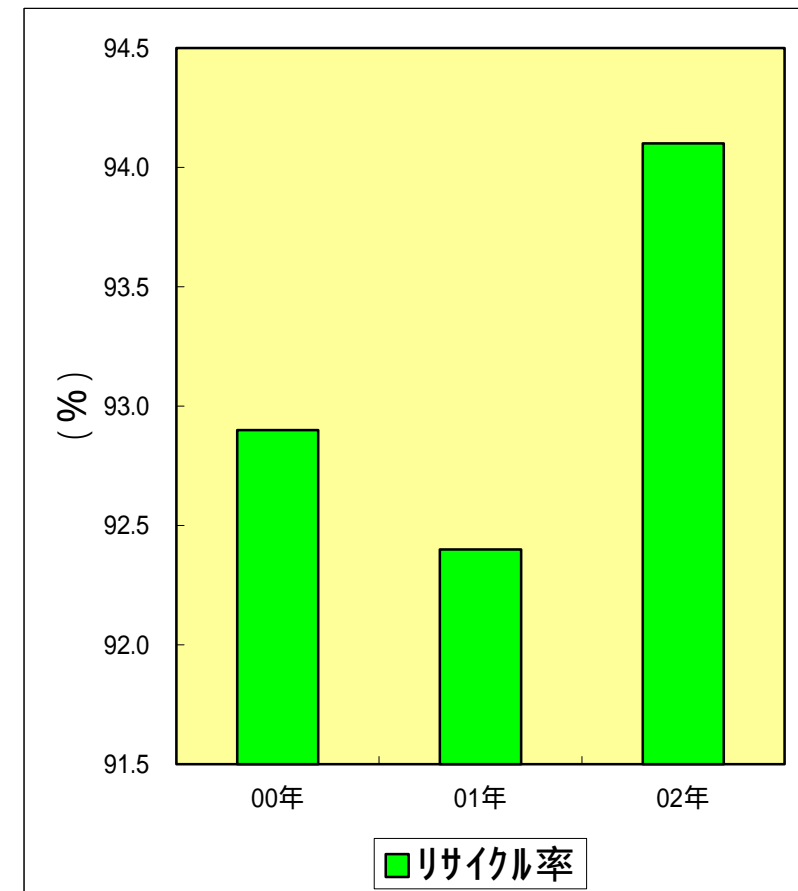
下水排水管理（BOD 値）



エネルギー管理（電気消費量）



廃棄物排出管理（リサイクル率）



以上